



河曲地区地域づくり協議会

広報 かわの

令和7年12月20日 第23号

回
覧

河曲地区自治会総代会 総会・行政懇談会の概要

10月3日・10月17日

総会 10月3日午後7時から公民館で河曲地区自治会総代会総会（下掲写真）があり、遠藤会長のもと、7年度後半期に予定されている下記の5つの事業案件に係る報告と協議で進みました。

1. 日赤活動資金事務交付金の配布
2. 共同募金 各自治会で目安額を取り纏め
3. 第3ブロック行政懇談会

10月17日に市の行政関係者と懇談。河曲からは歩行者の安全確保策を要望

4. 第3ブロック調査研修事業

12月4日に清掃センター、不燃物リサイクルセンター及び亀山市総合環境センターを訪問見学

5. 地域づくり協議会 防災訓練について

11月16日、サテライト型防災訓練および物資供給訓練を実施

行政懇談会 10月17日にジェフリー鈴鹿で開かれた行政懇談会で、河曲が要望していた「グリーン帯の敷設と用水路にポール設置願い」について、市当局から、案件の緊急性に鑑み「今年度

中に路側帯とグリーン帯の路面標示の施行、及びラバーポールを設置する」旨の回答、並びに具体的工事内容の図示（下掲図）がありました。

この回答は、本紙22号でお伝えした野辺から河田のローソン脇に至る通学路の整備に関し、用水路側の危険度軽減のための行政側の対応措置です。地域が立ち上がって懸案を解消したことから行政がそれに応じて安全性のさらなる向上確保に努めて頂いた結果と言えましょう。



なお、懇談会では飯野地区から家庭ゴミの分別の簡素化について、神戸地区から神戸駅前ロータリー再開発についての要望がありました。これらに関しては清掃センター等の見学記を含めて本紙次号でお伝えします。



民生児童委員 12月改選

民生・児童委員さんのお仕事

12月定例改選により、河曲地区16自治会から18名の皆さんが新たに民生児童委員に就任されました。詳しくは関係広報誌に譲り、ここでは委員さんのお仕事について概略をお伝えします。

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤地方公務員（給与なし、実費弁償あり）で児童委員を兼ね、任期3年（再任可）の、地域の安心の要となる方々です。主任児童委員は、児童委員の中から大臣の指名を受けて、主にこどもや子育てに関する支援を専門に担当されます。

基本的な役割は、見守り対象者等の要支援者や気になる住民、地域の情報・ニーズを把握すること、把握した情報をもとに、必要に応じて住民を

見守ること、状況に応じて住民が抱える課題を福祉の関係機関や専門職につなぐこと、福祉に関することや地域の情報を住民につなぐこと等です。

民生・児童委員さんは、生活のことで悩みを抱えている地域住民の身近な相談役です。住民の立場に立って、生活上の様々な相談にのって下さいます。相談内容に応じて、行政や福祉サービス等の情報を提供したり、地域包括支援センターなどの関係機関につないで下さいます。

主な活動は地域住民の困り事に随時対応する相談支援活動、地域住民同士のつながりを育くむ地域活動、及び民児協活動として同じ地域で活動する民生委員との情報の共有、研修受講など日常の活動に資すること等です。

なお、個人情報に関し、活動で知り得た情報を口外しない守秘義務が付帯します。

第9回サテライト型防災訓練

1617人/10037人 参加率16.11%

11月16日、今年で9回目のサテライト訓練は①指定場所への参集、②本部へ避難状況の報告、③災害非常食を参加者に配付、の3訓練を行い、防災意識の高揚、共助の気運醸成、そして地域づくりに繋げることを目的としました。

結果：地区人口10037名、参加者1617人。参加率16.11%。昨年度の16.02%より0.09%向上。

今後とも防災意識を高めて参りましょう。

防災訓練 地区別参加者 R7.11.16			
地区	人口 9月現在	参加者	参加率 %
河田	394	93	23.60
野辺	1083	216	19.94
竹野	1891	138	7.29
山辺	322	65	32.30
ラウムズ		39	
木田	839	95	19.07
大谷		65	
国分	858	176	20.51
采女が丘	27	0	0.00
十宮	3322	408	12.28
須賀	1301	322	24.75
合計	10037	1617	16.11



本部スタッフ・消防分団一同

飯田秀治氏、瑞宝章を受章

令和7年11月3日、秋の叙勲にあたり、河田在住の飯田秀治氏が瑞宝単光章受章の栄に浴されました。瑞宝章とは長く公務や民にあつて公共の業務に関わられた方に授与される勲章です。氏は本職の傍ら鈴鹿市消防団河曲分団長在任13年を含めて35ヶ年にわたり消防という公共の業務に携わって来られました。



地区住民一同、今般の受章に祝意を表すとともに、地域の安全の根幹を担われてきた氏のご献身に感謝とともに深く御礼申し上げます。

《情報共有》

鈴鹿市文化振興事業団

地域づくり活動への支援事例

11月6日午後、市役所で地域づくり協議会代表者会議が開かれました。意見聴取や意見交換に先だって情報共有の場が設けられ、そこでは公益財団法人鈴鹿市文化振興事業団からの支援の「ご案内」として、幾つか情報共有の話がありました。

協議会単位であれ自治会単位であれ、今後とも活動を行うにあたり、事業団の支援事例を知っておくことは参考になると思われます。

以下、事業団からの案内文の概略です：

★事業団は平成9年4月に鈴鹿市の100%出資で設立、平成25年に公益法人に移行された。以来、文化会館や市民会館を拠点に多彩な文化芸術活動を展開してきた。また、公民館等との共催も行ってきた。

令和6年度からは市内各地域における文化活動に対する支援、地域活動イベントに係る支援にも取り組んでいる。本年度もいくつかの協議会から問い合わせが来ている。

支援内容としては、文化活動に関する相談や依頼に対して事業団が持つ人脈やネットワーク、ノウハウを活かし、地域文化活動の実施や継続に向けての提案やサポートを行うほか、イベント運営に必要な音響機材の貸し出しなど。

具体的には、イスのサンケイホール鈴鹿を拠点にクラシックやポップス、三味線等邦楽のコンサートや市民参加型セミナーを実施。「鈴鹿市美術展」「鈴鹿市文化賞」の運営と事務を担当。

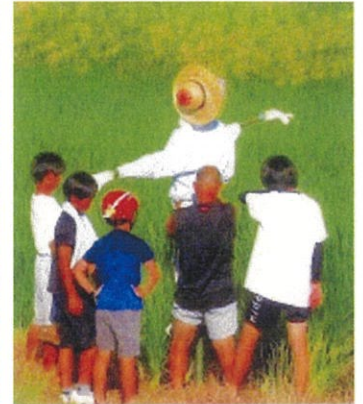
★公民館を会場にして、地元企業と文化セミナーを企画開催、鈴鹿市地域協働課と協力してプロの音楽家を招きワンコインで生演奏を体感できる「ミュージックガーデン」や落語「寄席」など地元企業との「共催」による事業展開も実施。

★地域づくり協議会主体の文化活動等への支援には次のような事例がある：

- | | |
|-------|------------------------------|
| 深伊沢地区 | わらアート「うさぎ」製作支援 |
| 愛宕地区 | 案山子づくり支援 |
| 長太地区 | 長太マルシェ、納涼おどりへの音響設備支援と設備操作学習会 |
| 庄内地区 | 櫻まつりに音響設備支援 |
| 加佐登地区 | 敬老会に音響設備支援 |



愛宕地区 案山子づくり支援



長太地区 音響設備支援



庄内地区 櫻まつりに音響設備支援



河曲地区スポーツフェスタ 10/19

西十宮 総合で2連覇

フェスタ開催通告花火の頃には降っていた雨もあがり、19日午前8時45分、開会式に臨んだ16地区選手団は晴れやかに行進し、その勢いのまま午後2時半の表彰式まで、フェスタはいつもにも増して楽しく熱気ある大会となりました。

競技は障害物、二人三脚、玉入れなど地区対抗得点種目に、幼児向けの旗取り、ペアのパン食い競争、高齢者向けボール運びレースなど硬軟織り交ぜて進行しました。

途中、末松市長の祝辞、代議士、県議、市議の来訪などフェスタならではの特番もありました。

午後はまず地区別リレーがあって各地区の得点確定、次いで自治会長16氏による福引と続きました。優勝は昨年度に引き続き35点を得た西十宮で、山口会長から優勝旗が授与されました。2位は32点の野辺、3位は30点の国分でした。

そして閉会式終了直後から再び雨・・・大吉。





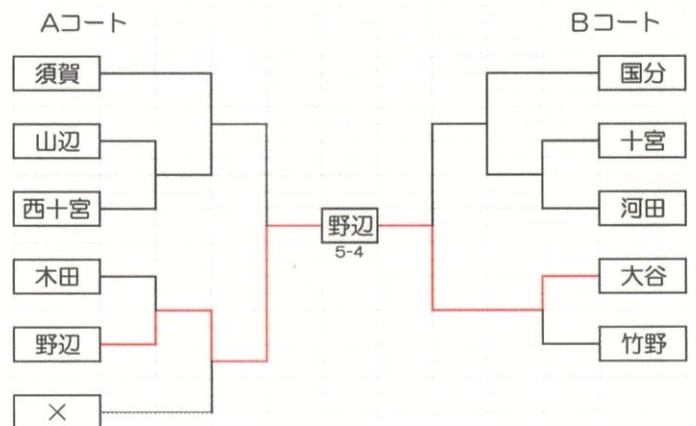
体育委員会主催ソフトボール大会 9/21

野辺優勝 大谷 2 位

連日の酷暑も一休み、絶好の日和にまれた9月21日、神戸中学校で体育委員会主催河曲地区ソフトボール大会が開催されました。

組み合わせは図のとおりで、決勝戦は野辺が大谷に5-4でサヨナラ勝ちしました。

野辺の自治会長原田孝樹さんによれば、想定外の祝勝会急遽開催のため、夕方から仕度で大忙しとなったそうです。



マンドリン演奏に耳を傾け、 フレイルを学んで健康長寿に

須賀町げんき会 9/9

今年もやりますげんき会 9月9日、須賀町のサロン活動の一つとしてげんき会主催自治会協賛による、マンドリン音楽鑑賞（第1部）と健康に係る講話（第2部）の集いがありました。

マンドリン演奏会 マンドリンは各地で澄み切った5重奏を披露されている「ア・モーレ」のみなさん。演奏曲は童謡から歌謡曲まで幅広く、



聞く側には親しみやすく楽しい1時間でした。演奏の合間には楽曲に因むエピソードを話されるのですが、これが興味深く、次は何、次は

何と引きこまれました。例えば「瀬戸の花嫁」を唄ったのは小柳ルミ子、当人は生涯独身で通すと宣言していたので、作詞作曲関係者が先読みして、ならば歌だけでも花嫁衣装を着せてあげておこうとの思いで仕上げたとか。

坂本九の「上を向いて歩こう」は、全米ヒットチャートでトップを長く独走したが、レコード収録にあたっては、二時間前に初見の楽譜に少しアドリブを加えて歌っただけだったのにとか。

「里の秋」は現在、1・2番までを歌唱しているが、作詞作曲は戦中であつた、故に3・4番まで譜面を辿ると「きれいなきれいな椰子の島 しまりまもってくださいと ああと

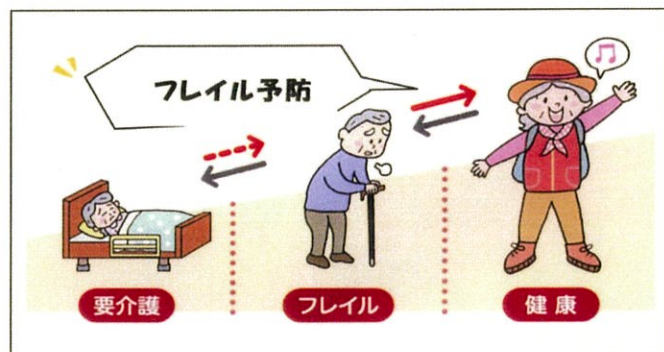
うさんのご武運を今夜もひとりでいのります」「大きく大きくなったなら 兵隊さんだうれしいな ねえかあさんよ僕だって かならずお国をまもります」などの歌詞がでてくるとか。

フォスターは「草競馬」「スワニー河」「夢路より」「おおスザンナ」「オールドブラックジョー」



などの歌で皆に親しまれているが、作曲活動20年間でなんと200曲も纏めあげたとか。

フレイルを知ってみんな健康長寿 第2部の「げんき会講話」は鈴鹿亀山薬剤師会の吉田先生から健康な生活のためのフレイル予防法を教えてくださいました。フレイルとは最近よく聞く言葉ですが、下図のとおり「健康と要介護の中間にあたる時期」をいいます。フレイルは健康寿命が終りに近づいていることを示します。これまで歳のせいと考えられていたフレイル状態は、手入れをすることである程度、健康な状態に回復する可能性があることが分かってきました。

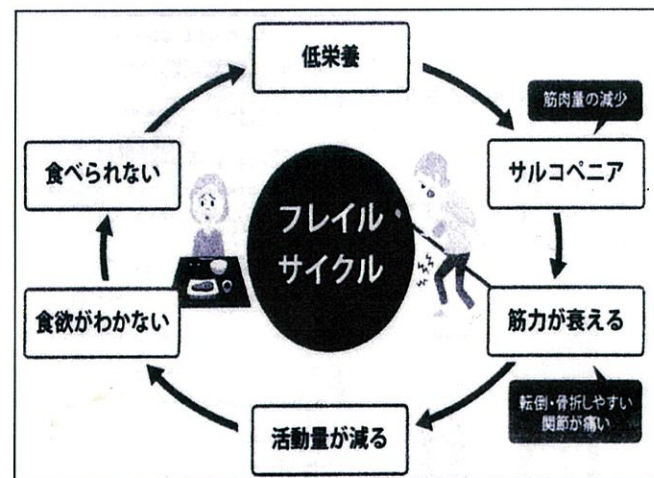


鈴鹿市広報紙より

フレイル対策はどうする 吉田先生のお話ではフレイルへの悪循環を招かないようにするには「栄養」「運動」「社会参加」の3点に留意して日常生活を送ることに尽きるそうですが、ここでは先に下のフレイルサイクル図を見ていきます。

まず、栄養に問題があると体重が減少します。それは筋肉量の減少（サルコペニア）を意味し、筋力の低下につながり、バランス障害や移動困難になり、転倒や外傷を招き、ついには他者依存、つまり要介護に至ります。

またこれと並行して体重減少は低栄養の結果なのですが、それは活動量の低下が招いたものでもあります。筋肉量の低下は疲労につながり、歩行



公民館10.4講演資料より

速度に低下をきたし、活動性の低下に至り、多岐の障害から他者依存、即ち要介護状態に至ります。



結論として 主食（米・うどん・パスタ・パン・そば）・主菜（肉・魚・卵・大豆など）・副菜（野菜・きのこ・海藻など）をバランスよく食べて、日光によくあたり、100 mを100秒で歩くよう心掛け、ラジオ体操を続ける、そして社会参加として「げんき会」の催しにはいつも出席すると決めておく、こうしておけばフレイルから立ち戻るための良い対策になる！ とのことでした。

はぐみテラス

十宮に新築の公民館 使用開始へ

十宮のはぐみテラス地区に新築された公民館施設が、11月1日、鈴鹿市から地域づくり協議会並びに自治会総代会に引き渡されました。なお、はぐみは「育む」にことよせた命名だそうです。



かわの地区の秋冬まつり 今年も賑やかに

国分てんてん祭り 10/12

竹野ルミナリエ 11/22～12/26

てんてん祭では、屋台がレインボー会館の前庭に10数張りも並び、その脇を子供神輿が練って行くなど青空のもとで楽しい祭礼風景が見られました。屋内では茶席あり、各種文化サークルの展示あり、と興味津々で巡れました（右掲写真）。

屋内会場でとりわけ心に残ったのが、桐生悦夫自治会長の国民体育大会馬場馬術競技出場に係る展示パネルと思い出話でした（下掲写真）。

高校新入生を3年間鍛え、第30回国体三重県代表選手に育成する指導体制のもとで桐生選手は馬と共に3年を過ごし、見事に期待に応え、障害飛越競技で2位入賞、加えて同国体で三重県が天皇皇后両賜杯獲得という偉業に寄与し、褒状受賞とのこと。聞いていて嬉しくなる話でした。



藤田宜三三重県馬術連盟会長に往時を語る桐生会長



ルミナリエの季節になりました。竹野公園を会場に6回目を迎えた「ふれあいルミナリエ2025」は、11月22日、華麗なLED電光で園内外を飾り、プロの歌手が盛り上げた点灯式（下掲写真）で始まりました。公開は12月26日まで35日間。



となり町の地域づくり 「定五郎物語」とコトバの力

契機 筆者が教職に就いて初めて担任を務めたクラスの学生4人から「50年ぶりに同窓会をやるので参加して下さい」との話が舞い込んだ。そのうちの一人に甲斐在住のT君がいた。

定五郎物語 10月上旬、下打合せて喫茶店に集まると、そのT君が手土産に純米吟醸酒「定五郎物語」を持参してきた。わけを聞くと、8年前、地域おこしとして『甲斐町「定五郎物語」米づくりプロジェクト』が発足した。その際、酒米の作付けにあたって、担い手さんに託していた自分の持ち田もその米づくりに充てられたということだった。



もっと詳しい経緯が分かれば、と依頼しておいた5日後、T君自ら薮田雅也自治会長宅を訪ねて纏めた14頁建レポート『純米吟醸酒「定五郎物語」誕生についてのヒアリング結果』が届いた。

T君レポート 地域づくりの気運が高まったのは8年前の2017年、甲斐出身の前川定五郎翁の没後100年を迎える年で、薮田さん達有志が記念企画を始めた頃だった。衆議の結果、甲斐町ゆかりの定五郎翁を顕彰するのであれば甲斐産米による酒造りが最も相応しい、と一決した。

なぜ米であり酒であるのかの解は、鎌倉時代の甲斐の歴史にある。即ち、元暦元年(1184)、源平合戦のうち「一ノ谷の戦」で源氏方の岡部六弥太忠純が平家の大將薩摩守忠度を討ち取った。その軍功により岡部六弥太は、甲斐を含むこの一帯(竹野、野辺、河田、三日市、算所、岡田、弓削、平田など)を荘園として拝受した。そこは「粥安富名かいやすとみみょう」と呼ばれた。それ以降、甲斐は伊勢の米どころとして名を馳せてきた。

コトバの力 米を活かすには酒が似合う。地元では酒造りによる地域活性化にあたって「限界集落ではなく、宴会集落を目指そう」という機智に富んだコトバを前面に掲げた。町内に従前から満ち満ちていた気運は、このコトバで明快な輪郭を有する「定五郎物語」になった。

地元の熱意は購買力にも波及した。なにしろ伊

勢志摩サミットで各国首脳に供された「作」の蔵元清水清三郎商店の杜氏内山智広さんの手になる酒ゆえに評判は上々、以来、牧田地区地域づくり協議会の支援をうけつつ「宴会集落」では8年が経過、今年は地元の水郷会が丹精込めて育てた3反の酒米「みえのゆめ」30俵を、精米歩合60%のところ55%まで引き上げて寒仕込みとのこと。誠に快調、慶賀の至りである。

近くにあるコトバと文字の力 折も折、10月27日の読売新聞に心とむコトバを介した地域おこしの記事がでた。落語家の切磋亭琢磨さんが津市大門商店街の振興を願い「消店街になりかけている街を笑店街に」との篤い思いで活動中という。

河曲地区でもコトバで心を繋いでいる事例には事欠かない。例えば河曲フェスタで躍動する河田地区のTシャツは「決め手はこうだ!」と迫ってくる。明るい紺色に白抜きのコトバが和して、秀逸なセンスの着衣になっている(5頁写真参照)。

須賀ではこのコトバ作りに触発され、深紅のTシャツ「須賀っといこに!」でフェスタに参加する形を整えた。

木田は「鬼太」と記したTシャツで他を圧倒する。木田の光明寺さんにある「明応九年(1500)木田道場」との野袈裟由来のお軸の宛書から推し量ると、鬼太の二字には室町以前の歴史が宿る。

西十宮は一転して、お洒落な漢字成分英訳により「WEST TEN ☆3 ☆8」と軽妙に結んでいる。

機智に富み、目に映りよい文字とコトバは地域みんなの一体感を高め、最善解を生むようだ。

付記 着衣の話を幸便に、当協議会の「かわのブルゾン」制作時のこだわり二点を記しておきます。地



元のTS Tech株式会社さんのご支援を受けて生れたブルゾン、色あいは遠目にも判別し易いようにショッキングピンクとしました。フェスタの際など、委員さん方の立ち位置が判りよくなっています。背中文字は地区センターの方をお願いしました。ピンクの生地にはやわらかなひらがながかわのとならんでいて、控えめで品の良い着衣に仕上がっていると思います。(松林嘉熙 記)

河曲地区地域づくり協議会広報紙

『広報かわの』第23号 令和7年12月20日 発行
発行責任者 地域づくり協議会事務局長 松林嘉熙
事務局 河曲公民館内「地域部屋」 電話059-390-1295